

【概要】

わが国の医療を取り巻く環境の変化は大きく、2025年には超高齢社会を迎えようとしている。薬剤師は、医療人として今まで以上に地域社会とのかかわりが大きくなり、かつそのニーズも高まっている。患者との接遇においてそのコミュニケーション能力が質の高い医療につながるばかりでなく、多職種連携における薬剤師としての役割を発揮するためにもコミュニケーション能力を高めることが必要である。

本演習においては、医療・福祉施設等において薬剤師が遭遇するさまざまなシーンを想定し、状況に応じたコミュニケーションができるよう手話などの体験学習を通じて学ぶとともに地域社会における薬剤師の役割の将来性について総合的に学ぶ。与えられた課題のみならず、自らがSGD及びPBLにより課題を発見し、それを解決する能力を高め、医療人として社会に貢献しようとする意識を高める。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による